<u>令和 6 年</u> 月	実施施策に係る政策評価の事前分析表及び政策評価書	(環境省	R6	- (14))				
施策名	目標 4-2 各種リサイクル法の円滑な施行によるリサイクル等の推進			担当部局名	環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室 環境再生・資源循環局 総務課 容器包装・プラスチック資源循環室 環境再生・資源循環局 総務課 資源循環ビジネス推進室				
施策の概要	各種リサイクル法等の円滑な施行等により、リサイクル等を推進する。			政策評価実施予定時期		政策評価実施時期	令和	7年	8月
達成すべき目標	定められた計画値・目標値の達成に向けて、各種リサイクル法等の円滑な施行等により、リサイクル等を推進する。			政策体系上の 位置付け	4. 資源循環政策の推進				

年度ごとの目標値

・第六次環境基本計画(令和6年5月21日閣議決定)第3部等
 ・第四次循環型社会形成推進基本計画(平成30年6月19日閣議決定)5.等
 ・第五次循環型社会形成推進基本計画(令和6年8月2日閣議決定)5.等
 ・成長戦略実行計画(令和3年6月18日閣議決定)第3章等
 ・新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024改訂版(令和6年6月21日閣議決定)VI.等

	測定指	標	基準値		目標値					F度ごとの実績 ^ん				測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠	達成
_				基準年度		目標年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		R8年度	R9年度		
	1	容器包装リサイクル法に基づく容器包装 分別収集量 [千 ^ト ン]	-	_	別添のと	別添のと おり				別添のとおり				第9期、第10期市町村分別収集計画における分別収集見込量に基づき設定	Δ
_	2	家電リサイク ル法における 特定家庭用 機器廃棄物	_	_	別添のと	別添のと	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	_	特定家庭用機器再商品化法基本方針に基づき設定	_
_		の回収率 (%)			007		別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	_		
	3	ル法における 食品関連事 業者による食 品循環資源	-	_	別添のと おり	別添のと おり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	_	食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針に基づき設定	Δ
_		の再生利用 等の実施率 (%)					別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	-		
	4	建設リサイク ル法における 特定建設資 材の再資源	_	_	別添のと	別添のと おり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	_	建設リサイクル推進計画2020に基づき設定	_
		化等の実施 率(建設発生 木材、%) 目動単リサイ			00 7		別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	_		
	5	クル法におけ る自動車破砕 残さ(ASR) 及 びガス発生器	_	_		別添のと おり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	_	使用済自動車の再資源化等に関する法律施行規則に基づき設定	0
		(エアバッグ 類;AB)の再 資源化率 (%)			おり	あり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	-		
	6	小型家電リサイクル法におけるまた。	_	_		別添のと	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	_	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する基本方針に基づき設定	×
	-	気電子機器 等の回収量 [万 ^ト シ]			おり	おり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	_		

	7	使用済プラス チックのリサ イクル等によ る有効利用率	-	-	別添のと	別添のと	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	別添のとおり	_	令和元年に策り	定した「プ	ラスチック資え	原循環戦略」を踏	まえて設定						_
	達成手 開始年	段	関連する指標	行政事業		達成手段(開始年月	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	別添のとおり 関連する指標	- 行政事業 レビュー	別添のとおり	別添のとおり 達成手段 (開始年度)		男連する指標	行政事業		達成手(開始年		関連する指標	行政事業		達成手(開始年		関連する指標	行政事業
(1)	プラスチック 資源循環等 推進事業費 (平成18年 度)	1	904833	-	(5)	自動車リサイ クル推進事業 費 (平成22年 度)	5	事業番号 004838		(9)	_	_	事業番号 — —		(13)	—	_	事業番号 — —		(17)	<u> </u>	-	事業番号 ————————————————————————————————————
(;	2)	家電リサイク ル推進事業 費 (平成19年 度)	2	004838		(6)	小型家電リサイクル推進事 業費(平成24 年度)	6	004838		(10)	-	_	_		(14)	-	_	_		(18)	_	_	_
(3)	食品廃棄物リ デュース・リサ イクル推進事 業費 (平成19年 度)	3	004835			リサイクルプ ロセスの横断 的高度化·効 率化事業 (平成29年 度)	6	004838		(11)	_	_	_		(15)	_	_	_		(19)	_	_	_
(.	4)	建設リサイク ル推進事業 費 (平成19年 度)	4	004838		(8)	_		_		(12)	_	_	_		(16)	_	_	_		(20)	_	_	_
			(各行政	攻機関共通区	区分)									③相	当程度進	展あり								
		目標達成度 合いの 測定結果	・容器包装リサイクル法における分別収集量については、概ね計画値通りに推移し、またペットボトルには増加が見られた。 ・容器包装リサイクル法における回収率については、会和5年度は70.4%と増加傾向にあり、日標年度での日標値は達成目沿 4.75を3																					
	評価結果	目標達成が 出来なかっ た要因、そ の他施策の 課題等		ル制度にお こ向けてさら ル法につい	いて、施策 に有効な対 ては、食品	の実施によ 対策を検討、 卸売業や対	り指標の達成 実施する必要 食産業では、	や実績値の向 がある。 食品ロス削減	上など着実な の取り組みは	は果が見られ 進んでいるも	ιる。 のの、再生利						ノサイクルに関す 注達の原因分析・			利用量の何	氐下に伴い	、再生利用等	実施率の低下に	つながった。
		次期目標等への		【施策】		各種リサ・更なるリー・食品リサと令和6年を確保し、	イクル法の検 サイクルの推え イクル法につい 度目標が乖離 再生利用等実	しているため、 施率の目標値	こともに、適切 lき続き取組を \売業は直近。 目標(それそ 直達成を目指す	に評価を行っ を進めてまいり の実績が令和 れ75%, 50% す。	てまいりたい。 たい。 6年度目標を)を据え置いか	。 達成しているこ	生事業者の確	保·意識向上	のため、								及び外食産業は とした地域のリサ	
		反映の方向 性	[測定指標】		食品リサ 関する業界小型家電	イクル法につい 界別の目標値	を定めた。 については、彳	年度に食品リ	サイクル小委	員会及び食品	引サイクル専											新たな再生利用	

		<参考:施策の実施における活用状況> ・中央環境審議会循環型社会部会プラスチック資源循環戦略小委員会、中央環境審議会循環型社会部会レジ袋有料化検討小委員会、家電リサイクル制度評価検討小委員会、食品リサイクル専門委員会、自動車リサイクル専門委員会、小型家電リサイクル小委員会において、各種リサイクル法の施行状況等について専門家の知見を伺った。	【主な目標】 ・各種リサイクル法に基づき、地方公共団体や事業者等によるリデュースやリサイクル等に係る取組を推進し、容器包装、製品プラスチック、家電製品、食品廃棄物、建設廃材、使用済自動車、使用済小型家電等の資源循環の促進を図った。これらにより、目標11番「住み続けられるまちづくりを」と目標12番「つくる責任つかう責任」への達成に貢献できた。 【副次的効果が期待される目標】 ・リデュースやリサイクル等に係る取組の推進により、サプライチェーン全体のCO2排出量を削減することで、目標13番「気候変動に具体的な対策を」の達成に貢献できた。
15	政策評価を行う過程 こおいて使用した資 料その他の情報	 ○容器包装リサイクル法に基づく市町村の分別収集及び再商品化の実績について(環境省) ○家電リサイクル実績について(経済産業省、環境省) ○食品リサイクルの現状(農林水産省、環境省) ○建設副産物実態調査結果について(国土交通省) ○自動車リサイクル法の施行状況(経済産業省、環境省) ○小型家電リサイクル法に基づくリサイクルの実施状況等について(経済産業省、環境省) ○プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況(一般社団法人プラスチック循環利用協会) ○スーパーマーケット白書(一般社団法人全国スーパーマーケット協会) ○コンビニエンスストア業界の「レジ袋削減」への取組みについて(一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会) 	

別 紙

測定指標

- 1. 容器包装リサイクル法に基づく容器包装分別収集量[千5]
- ア. ガラス製容器 イ. 紙製容器包装 ウ. ペットボトル エ. プラスチック製容器包装
- 2. 家電リサイクル法における特定家庭用機器廃棄物の回収率[%]
- 3. 食品リサイクル法における食品関連事業者による食品循環資源の再生利用等の実施率[%]
- ア. 食品製造業 イ. 食品卸売業 ウ. 食品小売業 エ. 外食産業
- 4. 建設リサイクル法における特定建設資材の再資源化等の実施率(建設発生木材:%)
- 5. 自動車リサイクル法における自動車破砕残さ(シュレッダーダスト)及びガス発生器(エアバッグ類)の再資源化率[%]
- ア. 自動車破砕残さ(シュレッダーダスト) イ. ガス発生器(エアバッグ類)
- 6. 小型家電リサイクル法における使用済小型電子機器等の回収量[万/シ]
- 7. 使用済プラスチックのリサイクル等による有効利用率[%]

年度ごとの	の目標値		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	目標年度	目標値
	_	年度ごとの計画値	702	697	670	666	660	656	652		652
指標1 -	ア	実績値	685	662	634						(計画値)
		年度ごとの計画値	101	101	83	83	84	84	84		84
	イ	実績値	72	73	71					DO 左 连	(計画値)
		年度ごとの計画値	313	314	339	340	341	342	343	R9年度	343
	ウ	実績値	344	348	351						(計画値)
	I	年度ごとの計画値	726	727	762	770	780	792	793		793
	_	実績値	779	774	756						(計画値)
指標2	_	年度ごとの目標値	_	_	_	_	-	-	-	R12年度	70.9
1日1示乙	_	実績値	68.2	70.2	70.4					KIZ牛皮	
	ア	年度ごとの目標値	95	95	95	95	-	-	-		95
	,	実績値	96	97							
	1	年度ごとの目標値	75	75	75	75	-	-	-		75
指標3		実績値	70	62						R6年度	
1日1示〇	ウ	年度ごとの目標値	60	60	60	60	-	-	-	10一尺	60
		実績値	55	61							
	I	年度ごとの目標値	50	50	50	50	-	-	-		50
		実績値	35	32							
指標4	_	年度ごとの目標値	<u> </u>	<u>—</u>	_	<u> </u>	97	<u> </u>	_	R7年度	97
יייים ו		実績値								1(7-1)	
	ア	年度ごとの目標値	70	70	70	70	-	-	-		70
指標5		実績値	96 ~ 97.5	96.4 ~ 97.4	96 ~ 97.3					各年度	,,,
10100	1	年度ごとの目標値	85	85	85	85	-	-	-		85
	'	実績値	95	95	96 ~ 97						
指標6	_	年度ごとの目標値	14	14	14	検討中		<u> </u>	-	R5年度	14
10 100		実績値	9.6	8.9	8.6					110 1 /2	
		年ごとの目標値	-	_	-	-	-	-	-		
指標7	_	リサイクル+熱回収 [%]	88.2%	88.3%	89.5%					R17年 (2035年)	100%
		(リサイクル率)	24.5%	24.7%	25.6%						